

<記載例>

別紙様式 1

【注意事項】

応募用紙は全体（別紙様式 1～4）で  
**20ページ以内となるよう**作成してください。

年 月 日

農林水産大臣 殿

(応募者)

名 称

代表者氏名

令和 8 年度「SAVOR JAPAN」取組計画書

「SAVOR JAPAN」事業に係る計画書を、別添のとおり、関係書類を添えて  
提出します

【申請窓口及び連絡先（事務局）】

※窓口の担当者を記載してください。

会社名	
所属（部署名等）	
役職	
氏名（ふりがな）	
所在地	〒
電話番号	
FAX	
E-mail	

受付番号	
------	--

取組計画書（応募者に関する事項）

1	実行組織の名称 <span style="color: red; font-size: small;">※応募団体の正式名称を記載してください。略称があれば、括弧で付け加えてください。</span>			
2	主たる事務所の所在地			
3	代表者の役職名及び氏名			
4	設立年月日			
5	事業年度（ 月～ 月）			
6	構成員の概要 <span style="color: red; font-size: small;">※申請時点における事業者を全て記入してください。</span>			
① 事務局				
名 称	所在地	代表者氏名	事業概要	備 考
			※事業概要、運営資金などを記載	※DMO、農泊認定地域に登録されている場合は記載
② 構成員（民間法人、個人）				
名 称	所在地	代表者氏名	事業概要	備 考
			※構成員の事業内容などを記載	
③ 構成員（市町村）				
名 称	所在地	代表者氏名	事業概要	備 考
			※構成員の事業内容などを記載	
<p>構成員（法人__団体、個人__人、市町村__団体） 下記の法人には名称を記載                  農業協同組合、漁業協同組合、観光協会、旅行者、旅客業者、商工会議所、商工会、大学等の研究機関、博物館、料理学校、飲食店、宿泊施設、土産店、料理人、地方公共団体</p>				

7 外部人材（アドバイザー、シェフ等）の概要

アドバイザー・シェフ氏名	常勤 非常勤	実 績

- ※ 非常勤の場合は、どの程度の頻度で助言を受ける予定なのか記載すること。
- ※ 全員の氏名及び申請団体との契約形態（常勤若しくは短期派遣）について、それぞれの実績を記載してください。

8 団体の概要（組織図、役割分担等）

- ※「6 構成員の概要」と合致させた組織図を作成してください。

9 団体の歴史・実績

- ※過去に団体として実施又は参加したイベント（イベントの開催地を合わせて記載してください）等及び活動実績を記載してください。

平成 年 月 設立

平成 年 月 ○○○イベント実施

10 地域の食と食文化を活用したインバウンド誘致の取組について

- ※海外からの旅行者を招聘し、現地で体験させるような取組（ファムトリップ等）、国内外の旅行イベント等への出展等、活動実績や計画があれば記載してください。

## 取組計画書（5ヵ年全体概要）

### ① キャッチフレーズ

「」

※ 取組内容を分かりやすく示したキャッチフレーズを20字以内で記載してください。

(計画全体のあらましについて)

#### (1) 対象予定とする地域の地理的範囲

※ (例) ○○地域：××市、△△町、□□村

申請地域に含まれる市町村等を記載ください。

#### (2) 現状と目標

※訪日外国人旅行者を自らの地域へ誘客する上で現状を客観的に分析し、「自らの地域をどのような地域にしたいか」というビジョン、また、このビジョンを実現するための中間地点（3年目）での目標を記載してください。

#### (3) 特に取り組むべき事例の優先順位

※目標達成に向け、優先順位を定めて、取り組むべき事例を記載してください。

(例) 優先順位1：ヴィーガン食の開発

優先順位2：OTA等を招聘したファムトリップの実施

優先順位3：ガイド・語り部の育成

優先順位4：観光案内等の多言語表記等の受入体制整備

#### (4) 本計画の実行組織内の共有状況

※本計画について実行組織内で議論や検討、組織内での共有をどのように行ったかを記載してください。

#### (5) 地域住民の認知・理解度の状況について

※本計画において核となる地域の食文化に対する地域の住民の認知・理解度の状況について記載してください。

(具体的な計画)

※地域の特性を分析し、現状と課題を踏まえて下記について記載してください。

(1) ターゲット国（来訪を見込む国）・地域別の旅行者数・旅行消費額

※「ターゲット国・地域別の旅行者数」については、既存インフラの現状分析と今後の整備計画を踏まえ、受け入れ可能な人数を設定して下さい。

(2) 当該地域における農林水産物・食品の輸出額

※農林水産物・食品の輸出額の現状と課題を踏まえ、今後の方針を記載してください。

(3) 推奨すべき訪問先のルート

※モデルコースを指します。「地域の食」、「地域の農林水産業」、「文化、景観等の地域資源」の3つのコンテンツを適切に組み合わせて、コース設定を記載してください。

(4) 受入施設の整備

※飲食施設、観光施設、宿泊施設等の整備のことです。「受入施設の整備」については、目標だけではなく、別途、「9 インフラ等受入環境の整備に関する事項」において、その整備の時期、方法、資金計画等について、記載する必要があります。

(5) K P I

※K P Iについては、本計画書に記載された取組によって直接的に効果が発現する内容とし、「宿泊者数」や「旅行消費額」のほか、「食体験プログラムの造成数」や「料理メニューの開発数」、「顧客満足度」等、取組内容を踏まえた独自の内容を記載いただいても結構です。（別紙様式4に記載いただくものと同じ内容となります。）

(例)

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
外国人旅行宿泊人数					
外国人旅行消費額					

(計画策定の根拠、分析等)

※本計画策定の根拠等となる自治体の計画等があれば記載してください。また、K P Iに係る事業成果・効果の検証・分析をどのように行うかを記載してください。

## ② 地域の課題に関する事項

(取組を進めるに当たっての地域の課題)

※農林水産業をはじめとする地域の総合的な振興、宿泊施設及び飲食施設との連携、鳥獣害対策との連携、景観や環境保護との連携、地域の食文化の継承や食育との連携の取組等地域で優先的に解決すべき課題とその現状について記載してください。

(解決に向けた方策)

※上記の課題の解決に向けた方策やこれに必要な経済活動（稼ぐ力、交付金の活用、民間資金の活用等）について、優先順位等を整理し、現状と課題を踏まえて記載してください。

## ③ 地域の食、農林水産業に関する事項

※当該地域において、伝統的に複数世代にわたって供されている料理について、歴史的・文化的背景、食材、調理法等のような特徴があるか、また、地域の農林水産物との関係（料理に不可欠な地域の食材、農作業にかかわる祭事などの行事等）について画像などもあわせて記載してください。

※また、当該地域において、地理的表示保護制度（GI）、世界農業遺産（GIAHS）、日本遺産等に関する登録や認定等が行われ、あるいは、登録や認定等に向けた検討が行われていれば、地方公共団体をはじめとする関係機関との連携によりどのように取り組むか現状と課題を踏まえて記載してください。

※後継者の育成や集落営農、地域全体で農村水産業を繋いでいくための取組があれば、記載してください。

※伝統的な品種の作物や、伝統的な農法・漁法の継承の取組があれば記載してください。

④ 地域の食と農林水産業、地域資源に係るストーリーに関する事項

※地域の食や農林水産業と関連性のある地域資源（文化、伝統芸能、芸術、自然、景観、伝承、生産物等）との関係について、当該地域に特有の歴史的、体系的なストーリーを、現状と課題を踏まえて記載してください。

※また、そのストーリーが地域ぐるみでどのように共有・発信されているか（語り部やガイド）、さらに、今後どのように普及・伝承していくかなどの取組があれば、記載してください。

※地域内の施設等で当該ストーリーを説明するための、ターゲットとする国の言語で説明できる人材の育成・配置、パンフレット等の作成・活用の取組があれば、記載してください。

⑤ 品質の維持・向上、人材の育成・確保するための体制および活動

※地域の商品やサービスの品質の維持及び向上を図るための取組や改善をどのような体制で行っているかについて記載してください。

※また、講習会や研修会など改善の取組実績を記載してください。特に若者、女性やシニア世代の活用を含め、計画的に取り組んでいることや次世代に継承していくための方策を、現状と課題を踏まえて記載してください。

⑥ インフラ等受入環境の整備に関する事項

※訪日外国人を呼び込むための飲食施設、観光施設、宿泊施設等の整備や多言語での観光案内・メニュー表示、Wi-Fi環境、トイレ、域内交通機関等の整備について記載してください。また、整備を行ったものについて国の補助事業又は交付金利用の有無を記載してください。

※生産作業・調理等の体験、農林水産物・食品の輸出促進に関する取組、農林水産業者が経営に関わる施設（農家民宿、直売所、農家レストラン、観光農園等）の活用に関する事項等あれば記載してください。

⑦ 事業成果・効果の検証方法

※①に定めるKPIに係る、事業成果・効果の検証方法について、データ収集や外部評価、改善策の検討、そのための組織体制など具体的な方法を記載してください。

## 取組計画書（年度別計画）

① 目標・KPI

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	本計画書に記載された取組によって直接的に効果が発現する内容し、宿泊者数や旅行消費額のほか、食体験プログラムの造成数や料理メニューの開発数、顧客満足度等、取組内容を踏まえた独自の内容を記載いただいても結構です。				

② 取組事項

ア) ソフト事業

優先度	項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	(資金使途)	(例) Wi-Fi スポットの設 置促進	→			
	(資金調達計画)	(例) 実行組織構成員である〇〇銀行からの融資を活用/自治体からの交付金を活用 等				
2	(資金使途)					
	(資金調達計画)	別紙様式 3 の②から⑤までについて、単年度で取り組む事項を具体的に計画していることが分かる内容で記載してください。特に外国人をもてなす上で発生する地域の課題について、優先順位をつけて取り組むことがわかるように記載してください。 (例. メニューの多言語化、郷土料理の改善(アレンジ)や、食材の地域内調達、外国人ガイドの育成、外国人対応講習・研修会など)				
3	(資金使途)					
	(資金調達計画)					
4	(資金使途)					
	(資金調達計画)					
5	(資金使途)					
	(資金調達計画)					

イ) ハード事業

優先度	項目	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度				
1	(資金使途)	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>別紙様式3の⑥について、単年度で取り組む事項を具体的に計画していることが分かる内容で記載してください。 特に外国人をもてなす上で優先的に整備すべき施設や環境などについて記載してください。 (例. Wi-Fi環境の整備、観光案内所、飲食施設・宿泊施設のリノベーション、農業体験の安全対策など)</p> </div>								
	(資金調達計画)									
2	(資金使途)									
	(資金調達計画)									
3	(資金使途)									
	(資金調達計画)									
4	(資金使途)									
	(資金調達計画)									
5	(資金使途)									
	(資金調達計画)									

- ※ 資金計画については、取組事項を推進するに当たり必要な経済活動（国からの交付金・補助金の活用（省庁名・事業名）、民間資金の活用等）を記載ください。
- ※ 必要に応じて行を追加してください。